３類型	鉱工業品	**通巻番号**	５－２１－０３８
地域資源名	淡路瓦	**認定日**	平成２２年２月１６日
地　　域	兵庫県淡路市、南あわじ市	**所管省庁**	経済産業省

事業名：淡路瓦の更なる可能性を求めたシンプル＆モダンな新屋根材「いぶし平板瓦」の開発と販売

会社名：淡路瓦工業組合
所在地：兵庫県南あわじ市湊134
連絡先：ＴＥＬ：０７９９－３８－０５７０
ＨＰ：http://www.a-kawara.jp
ＦＡＸ：０７９９－３７－２０３０

事業概要（新たな活用の視点）

・阪神大震災以降、これまで粘土瓦の主流であった和形瓦がスレート系に押され「瓦離れ」が進行した。
・こういった状況の中、地域の瓦メーカーと粘土メーカーの協力のもと、いぶし平板瓦の研究開発に取り組み、軽量化かつ他産地にはないフルフラット平板の試作開発を成功させた。
・本事業では、この「軽量いぶし平板瓦」を当産地の主力製品とすべく、当組合が主体となり、地域の瓦メーカー、粘土メーカー、関係機関が一体となり事業化に取り組む。
・商品化にあたっては、当組合が別途開発を進めている低蓄熱性、太陽光パネル対応、太陽熱給湯暖房システムなどの機能性も付加し、より一般消費者の利便性を高めた高付加価値製品も併せて販売する。

【写真上：フラット型平板、写真下：フルフラット型平板】

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力
・従来、瓦は焼き物であることから、薄手化、軽量化に限界があるとされてきたが、当組合では素材から成形・焼成技術まで新たな開発・改良することで、軽量化とフラット化を可能にし、ニーズの高いシンプル＆モダンな形状を実現した。
◆市場性・販路
・初期段階では高付加価値製品として建築士や設計事務所にＰＲして販路拡大を目指し、量産体制を確保した段階で、大手ハウスメーカー向けに販売を行う。
・また、本製品は寒冷地対応商品であることから全国に向けた新たな販路・市場拡大に取り組む。

【施工イメージ】

地域資源における関係事業者との連携

・本事業の実施にあたっては、当組合が事業主体となり組合員及び関係協力企業からプロジェクトチームを組成し、研究開発から販売までの事業化に取り組む。
・将来的には当産地全体に技術を浸透させ、産地全体の事業に拡大させる予定である。